

とっとり農業会議情報

第 1 号

発行:平成21年 1月28日

編集:鳥取県農業会議

主 な 内 容

- ◇ 全国農業委員会会長代表者集会（12月3日）に農委会長ら12名参加・・・2頁
- ◇ 農業者年金加入推進セミナー（12月2日）に農年友の会会長ら18名参加・・・2頁
- ◇ 雨河 昇氏（前鳥取市農業委員会会長）が農林水産大臣表彰・・・2頁
- ◇ 柳谷氏（米子市）いわみ農産（岩美町）箕蚊屋大豆組合（米子市）が優良担い手表彰・・・2頁
- ◇ **農政対策ニュース** 農林水産省が「農地改革プラン」公表・・・3頁
- ◇ 鳥取市が水土里ネットの「農地情報共有化事業」を実施（全国初）・・・4頁

鳥取県耕作放棄地対策協議会が発足（平成20年11月18日）

ー 県内7市町村でも対策協議会を設置し、耕作放棄地対策を実施 ー

国の平成20年度補正予算成立を受けて、耕作放棄地再生利用推進事業（予算額25億円）が実施されることになった。本県でも7市町で本事業実施予定で、現在、地域協議会等の設立が進められている。

この平成20年度耕作放棄地再生利用推進事業実施に伴い、県域での耕作放棄地対策協議会の設置が不可欠となり、昨年11月18日に、鳥取県耕作放棄地対策協議会（17会員）の設立総会が開催され、本会川上会長が会長に、県農林水産部の鹿田部長、県農協中央会坂根会長の両名が副会長に就任するとともに、本会が事務局を担当する。

次いで12月18日、幹事会（23名）が開催され、幹事長に本会浜本事務局長が就任、県推進方針、再生利用推進計画の策定について話し合いが行われた。今後、市町村で実施されている耕作放棄地全体調査等を踏まえ、県協議会として方針・計画策定することとしている。

平成21年度本会予算について県議会各会派へ要望

鳥取県農業会議は1月8日、恒例の鳥取県議会各派へ平成21年度本会予算要望を川上会長がJAグループとともに要請した。

要請先は鳥取県議会自由民主党、同自由民主党クラブ及び同会派「自由民主」の3会派で、同自由民主党、同自由民主党クラブの2会派には直接聞き取り要請を行った。

内容は平成20～22年度の鳥取県農業会議の戦略的「実効プロジェクト」で取り組む”農地の有効利用”と”農業者の元気アップ”をテーマに掲げて進めている「遊休農地の解消」、「農地の効率利用」、「経営の健全化」、「暮らしの向上」など6目標に向かって取り組むための主要事業である耕作放棄地再生利用推進事業、農地確保・利用支援事業、担い手アクションサポート事業などの予算要望・確保を要請した。

全国農業委員会会長代表者集会に農委会長ら12名参加

平成20年度全国農業委員会会長代表者集会が12月3日、東京都・「九段会館ホール」で開催され、本県からも川上・本県農業会議会長をはじめ8市町村の農業委員会会長、事務局職員ら計12名が参加した。

集会では「食料自給率向上のための施策の確立に関する重点要請決議」、「農地政策の見直しに関する要請決議」、「市町村における農政推進の強化に関する政策提案」など要請・申し合わせ決議を決定し、関係機関・団体に要請を行った。

本県参加者も本県選出の石破農林水産大臣に要請するとともに、本県選出の他の国会議員にも要請活動を行った。

農業者年金加入推進セミナーに農年友の会会長ら18名参加

平成20年度農業者年金加入推進セミナーが12月2日、東京都・「東部ホテルレバント東京」で開かれ、本県からも12市町15組織の農業者年金友の会会長ら18名が参加し、加入推進の取り組みの事例報告の他、「農業者年金制度の改正・改善に向けた重点事項」、「加入者10万人早期達成」など要請・申し合わせ決議を決定した。

セミナー修了後は、島根県との農業者年金組織同士の意見交換会を行った。

平成20年度農業委員表彰 雨河 昇 氏(鳥取市)に農林水産大臣表彰

前鳥取市農業委員会会長の雨河 昇氏が10月20日、平成20年度農業委員及び農業委員会職員の農林水産大臣表彰の被表彰者に決定、同月23日に県庁農林水産部長室で表彰状の伝達式が行われた。

雨河氏は平成2年7月から鳥取市農業委員となり、平成20年7月までの18年間農業委員として活動。平成17年から3年間は同市農業委員会会長並びに鳥取県農業会議の副会長の要職を務め、職務に精励した。

全国優良担い手表彰 柳谷氏(米子市) いわみ農産(岩美町)箕蚊屋大豆組合(米子市)

全国担い手育成総合支援協議会は12月4日、東京都内で平成20年度の優良担い手表彰の伝達式を行った。鳥取県担い手育成総合支援協議会が推薦した、米子市の柳谷一夫さんが優良認定農業者の個人・土地利用型部門で農林水産省経営局長賞、また岩美町の有限会社いわみ農産が優良認定農業者の法人・土地利用型部門で全国担い手育成総合支援協議会会長賞、米子市の箕蚊屋大豆組合が優良集落営農部門で全国担い手育成総合支援協議会会長賞を受賞した。

同表彰事業は、農業経営の改善に積極的に取り組み、地域農業の振興や活性化に寄与している意欲と能力のある担い手（認定農業者、集落営農）の優良事例を全国担い手育成総合支援協議会が毎年表彰しているもの。

農政対策ニュース

農林水産省は平成20年12月、「農地改革プラン」をとりまとめ、公表した。

「農地改革プラン」による農地の確保・有効利用の促進

農地改革プラン

農地面積の減少を抑制する等により農地を確保

◇農地転用規制の厳格化

- ①農地転用許可対象の拡大(病院、学校等の公共施設の設置)
- ②違反転用に対する罰則の強化
- ③都道府県が行う2ha以下の転用許可事務に関する国の指示

◇農用地区域内農地の確保

- ①農用地区域からの除外の厳格化
- ②都道府県に対する農用地区域内農地の確保に向けた国の指示

※ 今回措置する農地確保施策の実施状況を踏まえ、5年後を目途に国と地方公共団体との適切な役割分担について検討

制度の基本を「所有」から「利用」に再構築

◇農地の権利を有する者の責務の明確化

農地の権利所有者は、農地を適正かつ効率的に利用する責務を有する旨法律上明確に位置付け

◇農地を利用する者の確保・拡大

農地の適正利用を確保した上で、農業生産法人以外の法人について賃借による参入を可能に等

◇農地の面的集積の促進

公的な信用方のある機関が、多数の農地所有者から農地の貸付等について委任を受け、これらの者に代理して農地の利用者へ面的にまとまった形で貸付を行う仕組みを全ての市町村で導入

◇遊休農地対策の強化

全ての遊休農地を対象に対策が講じられるようにする等有効利用を徹底する仕組みへ見直し

◇農地税制の見直し

転用期待の抑制

意欲のある者に農地が集まることにより、国内の食料生産の増大を給通した国民に対する食料の安定供給を確保

利用に着目した農地制度

我が国の農地面積はピーク時の約7割の水準にまで減少
昭和36年:609万ha
平成20年:463万ha拍車
農地転用期待

農業生産による収益水準を上回る農地価格

十分に進まない集積・規模拡大

規模拡大しても農地が分散錯雑

耕作放棄の増加

農業生産・経営が展開される基礎的な資源としての農地を確保し、その有効利用を図っていく必要

穀物価格の高騰や輸入食料品の安全性への不安

食料の多くを海外に依存している我が国においては、国内の食料供給力を強化する必要

水田等を最大限に活用する対策や地域における担い手の育成・確保対策を一層促進

※ 上記措置においては農業委員会が重要な役割を果たしていることに鑑み、これら農地改革の実施過程において、農業委員会の活動状況を検証

鳥取市が水土里ネットの「農地情報共有化事業」を実施

～全国で初めての取り組み(平成20年度)～

鳥取市は、平成20年度農地情報整備促進事業（農地情報図整備等委託事業）を担い手育成支援協議会が実施主体となり、全国で初めて実施、平成21年度までの2カ年で取り組んでいる。

これは水土里ネットとっとり（鳥取県土地改良事業団体連合会）で整備されたGISによる基図に、関係機関が所有する農地情報を付加するもの。この農地情報図を元に、面的集積や耕作放棄地解消対策等に活用が期待される。

（情報共有化する関係機関）

鳥取市、同市農業委員会、鳥取いなば農業協同組合、鳥取東部農業共済組合、大井手土地改良区
（平成20年度地図情報整備内容）

区域：鳥取市内全域 整備面積：7,644ha（整備筆数：16万筆）

情報：農地の所在、所有者、耕作者及び作付状況等

< 常任会議員会議だより >

第8回常任会議員会議（平成20年11月28日開催）

議 事 ・農地法第4条諮問答申 9件 4,604㎡
・農地法第5条諮問答申 29件 21,863㎡

協議報告 ○平成20年度耕作放棄地再生利用推進事業の取り組みについて

第9回常任会議員会議（平成20年12月22日開催）

議 事 ・農地法第4条諮問答申 9件 5,998㎡
・農地法第5条諮問答申 21件 10,346㎡

協議報告 ○農地転用許可事務の適正化等について
○農林水産省の「農地改革プラン」について
○全国農業委員会代表者集会の要請決議等について

農業会議関係会議等予定（平成21年2月～3月）

2月4日（水）経営相談会<白兔会館>

5日（木）経営相談会<八頭総合事務所>

6日（金）農委会長会議等<水明荘>

13日（金）経営相談会<日野総合事務所>

〃 農委職員協議会研修会<水明荘>

17日（火）経営相談会<水明荘>

〃 耕作放棄地解消研究大会<カウパルホール>

18日（水）経営相談会<米子コンベンションセンター>

〃 農年加入特別研修会<倉吉未来中心>

27日（金）第11回常任会議<日本海新聞ホール>

3月27日（金）県耕作放棄地対策協議会総会<未定>

3月30日（月）第12回常任会議<白兔会館>

〃 本会第81回通常総会<白兔会館>